

報道各位

新潟市新津美術館

企画展

新潟市新津美術館所蔵品による「笹岡了一と新潟光風会の作家たち」  
開催について（お知らせ）

新潟市新津美術館では、企画展 新潟市新津美術館所蔵品による「笹岡了一と新潟光風会の作家たち」を開催いたします。多くの方々にご観覧いただきたく、取材・広報にご協力くださいますようお願い申し上げます。

記

- 1 展覧会名 新潟市新津美術館所蔵品による「笹岡了一と新潟光風会の作家たち」
- 2 会 期 令和6年1月20日(土)～3月10日(日)
- 3 会 場 新潟市新津美術館
- 4 観 覧 料 一般 500円、他
- 5 そ の 他 詳細は別紙プレスリリース参照
- 6 問合せ先 新潟市新津美術館

展覧会担当：星野、奥村

広報担当：山岸、石月

〒956-0846 新潟市秋葉区蒲ヶ沢109-1

TEL. 0250-25-1300

FAX. 0250-25-1303

新潟市新津美術館所蔵品による  
ささ おか りょう いち  
笹岡了一と新潟光風会の作家たち



笹岡了一《高地風景》1970年 新潟市新津美術館蔵

## 秋葉区出身の笹岡了一が残した遺産 — 作品、絵を描く仲間、創作の熱 …

会期 2024年1月20日（土）— 3月10日（日）

会場 新潟市新津美術館 〒956-0846 新潟市秋葉区蒲ヶ沢109番地1

展覧会名 新潟市新津美術館所蔵品による  
笹岡了一と新潟光風会の作家たち

### 開催趣旨

当館は、1992（平成4）年に洋画家・笹岡了一（1907-1987）の絵画163点が旧新潟市（現新潟市秋葉区）へ寄贈されたことをきっかけとして、1997（平成9）年に現在の地 — 笹岡が生まれ育った金津地区 — に「新潟市美術館」として開かれました。これら笹岡の作品群は、当館のコレクションの中核をなしています。

笹岡は、自身の創作活動に加えて地域の美術振興にも尽力し、多くの後進を育てました。1963（昭和38）年には「新潟光風会」を発足させ、作品発表や研究活動の場をさかんに設けて、新潟県内の美術を志す人々を励ましました。同団体は名称を変えつつも、発足から60年を経た今日まで新潟の主要な美術団体であり続けています。

本展では、当館所蔵品によって、笹岡の画業を振り返るとともに、新潟光風会を中心とする笹岡とゆかりの深い作家たちの絵画や工芸品を展示します。彼らの間で交わされ、共有され、受け継がれてきた創作への熱を、作品を通してお楽しみいただけます。

- 休館日** 1月22日（月）・29日（月）、2月5日（月）・13日（火）・26日（月）
- 開館時間** 午前10時～午後5時（観覧券販売は午後4時30分まで）
- 観覧料** 当日券 一般 500（400）円 大学・高校生 300（240）円 中学生以下無料  
※（ ）内は有料20名以上の団体料金  
※障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方は無料（手帳をご提示ください）  
※有料20名以上は団体料金で2割引  
※2度目はオトク！リピーター割引＊  
（本展チケットの半券の提示で、本展2度目のご来館が2割引でご覧いただけます）  
※2館見るとオトク！あっちも割＊  
（新潟市美術館の企画展観覧券を持参の方は団体料金）  
※新潟県立植物園および新潟市新津鉄道資料館の入館券を持参の方は2割引＊  
＊各種割引きは併用不可。1枚につき1回限り1年間有効
- 主催** 新潟市新津美術館

## 新潟美術館と笹岡了一

新潟美術館は、1992（平成4）年に洋画家・笹岡了一（1907-1987）の絵画163点が旧新津市（現新潟市秋葉区）へ寄贈されたことをきっかけとして、1997（平成9）年に「新潟市美術館」として開館しました。

美術館が建つエリアは、笹岡が生まれ育った地域でもあります。笹岡の作品は美術館が「新潟市新津美術館」となった現在でも、地域を代表する作家の貴重な作品群として、当館のコレクションの中核をなしています。

## 笹岡了一（1907-1987）



笹岡了一 1958年  
国松画廊（千葉市）にて

1907（明治40）年、新潟県中蒲原郡金津村朝日（現・新潟市秋葉区）に生まれる。旧制新潟中学校入学、のち旧制三条中学校に転校。その後上京し、中央画壇で活躍する。

4度戦線へ赴任後、戦地から戻り、1946（昭和21）年に第2回日展で《纏足》（当館蔵）を発表。画壇に復帰し、日展、光風会で発表を重ねる。

自身の制作のほか後進の指導に努め、新潟光風会の発足や新潟県展の審査員を務める等、県内の美術振興に大きく貢献。

1987（昭和62）年、逝去。

本展では、「笹岡了一」と「新潟光風会の作家たち」の作品を軸に展示をご覧いただきます。

笹岡は、いつどのような作品を描き、何を伝えたのか。創作に対する姿勢は、新潟光風会の作家にどのように引き継がれたか、新津美術館の所蔵品から振り返ります。

## Point 1 笹岡了一作品の見どころ

本展では、笹岡了一の作品を「幼年時代から青年期」「戦争体験」「人物を描く」「風景を描く」といったテーマごとに紹介し、作家の創作に迫ります。

また、「故郷・新潟の思い出」「骨董好き」など笹岡の人となり迫るピックアップコーナーも設け、多角的にお楽しみいただけます。



1



2



3

1 《纏足》1946年、2 《放蕩息子の帰宅》1963年、3 《夏の日》1968年  
いずれも笹岡了一、新潟市新津美術館蔵

## Point 1 新潟光風会をめぐる作家たちの多様な魅力

笹岡が1963年に立ち上げた美術団体「新潟光風会」は、発表や研究会をさかんに行い、年齢や性別を問わず交流することで、新潟県内に多くの作家を輩出しました。発足から60年以上を経た現在も、「光風会新潟」という団体名でその活動は続いています。

どのような作家が新潟光風会と関わり、笹岡の思いがどのように受け継がれてきたか。当館が所蔵する15名の作家の作品を展示するほか、会期中には関連イベントのアーティストトークを行い、笹岡の馨咳(けいがい)に接した4名の思い出を伺います。



池山阿有《炉ばた》1987年 新潟市新津美術館蔵

### 【主な出展作家】※五十音順

秋元松子、池山阿有、石山恵美子、大橋廣治、  
河内文夫、佐野武次、篠崎輝夫、代谷実、  
近松一雄、富川潤一、中野雅友、西村満、堀研一、  
本間ケイ、山田一郎

## 関連イベント

### アーティストトーク『わたしと笹岡了一』

新潟光風会ゆかりの作家に、笹岡との思い出や自作についてお話しいただきます。

※いずれも午後2時～(約40分～60分)、当館展示室にて(先着30名、事前申込不要、要当日観覧券)

- 1月28日(日) 本間ケイ氏
- 2月23日(金・祝) 山田一郎氏
- 3月 3日(日) 中野雅友氏
- 3月 9日(日) 堀研一氏

### 学芸員による 展示解説会

展示担当学芸員が、本展の見どころをわかりやすくご紹介します。

※いずれも午後2時～(約40分)、当館展示室にて(先着30名、事前申込不要、要当日観覧券)

- 2月 3日(土)
- 2月 25日(日)

### 新津美術館のやさしいサービス

#### ■こどもタイム

会場に音楽が流れるので、会話を楽しみながら鑑賞できます。

会期中の第1・第3の木曜日・日曜日

午前10時～午後1時

(2月1日・4日・15日・18日、3月3日・7日)

#### ■託児サービス

鑑賞やイベント参加時に専門スタッフがお預かりします。

詳しくは当館Webサイトをご確認ください。

#### ■月曜開館

平日の月曜2月19日、3月4日は開館します。



### 新津美術館の交通案内

#### ●JRをご利用の場合

古津駅から徒歩約25分、新津駅からタクシーで約15分、矢代田駅から徒歩約35分、矢代田駅からタクシーで約5分。

#### ●お車をご利用の場合

新潟方面から 国道49号線 茅野山ICを国道403号線 加茂・新津方面へ (新潟駅から約20km、約45分)。高速道・磐越自動車道 新津ICから車で約20分、新津西スマートICから約15分。

#### ●バスをご利用の場合

JR新津駅東口バス停から、秋葉区バスに乗車約25分、「美術館・植物園前」で下車、徒歩すぐ。もしくは新潟交通バス「矢代田経由白根・潟東行」に乗車約12分、「新津美術館入口」で下車、徒歩5分。JR矢代田駅バス停から、秋葉区バス「新津駅東口行き」に乗車約10分、「美術館・植物園前」で下車、徒歩すぐ。もしくは新潟交通バス「新津駅行」に乗車約3分、「新津美術館入口」で下車、徒歩5分。

## 広報用画像&読者プレゼント用招待券申込み

新潟美術館 E-mail : [museum.ni@city.niigata.lg.jp](mailto:museum.ni@city.niigata.lg.jp) FAX : 0250-25-1303

本展覧会の作品画像データをご希望の方は、必要事項をご記入の上、新潟市新津美術館までFAXまたはメールでお申込みください。

※お手数ではありますが、基本情報確認のため、必ず校正をお寄せください。

※掲載誌が発行されましたら、**1部ご提供ください。**

※読者プレゼント用招待券は**原則、画像掲載での展覧会紹介**1件につき、5組10名様分までご提供致します。プレゼントの受付、発送は貴社にてご対応ください。

貴社名

メディア・部署

ご担当者名

ご住所

〒

TEL

FAX

E-mail

読者プレゼント用招待券

枚 希望

※希望の場合のみ

希望画像データ（□に✓を入れてください）\*この他の作品画像をご希望の場合はお申し出ください。

※画像は本展覧会の広報用として、会期終了までの使用に限らせていただきます。

※必ず以下のとおり、キャプションを併記してください。



笹岡了一 1958年  
※トリミング位置は調整可



笹岡了一《纏足》1946年  
新潟市新津美術館蔵



笹岡了一《放蕩息子の帰宅》  
1963年 新潟市新津美術館蔵



笹岡了一《夏の日》1968年  
新潟市新津美術館蔵



笹岡了一《高地風景》1970年  
新潟市新津美術館蔵



世間一《高地風景》1970年  
新潟市新津美術館蔵

新潟市新津美術館所蔵品による

# 笹岡了一と 新潟光風会の

## 作家たち

2024年

1月20日土

3月10日日

- ◆ 休館日 1月22日(月)・29日(月)、2月5日(日)・13日(火)・26日(日)
- ◆ 開館時間 午前10時～午後5時(観覧券販売は午後4時30分まで)
- ◆ 観覧料 一般500(400)円 大学・高校生300(240)円  
中学生以下無料

※観覧は予約制。観覧券をお持ちの方は無料。手帳をご提示ください。

※1(～)内は有料20名以上の団体料金。

※2(～)内はオクトーリビタリ割引。★本展観覧券の半券の提示で、本展2度目の観覧は団体料金。

※3(～)内はオクトーリビタリ割引。★新潟市美術館の企画展観覧券をお持ちの方は団体料金。

★新潟県立博物館および新潟市新津鉄道資料館の入館券をお持ちの方は団体料金。

★各種割引は併用不可。1枚につき1日限り1年間有効。



# 笹岡了一と 新潟光風会の 作家たち

当館は、1992(平成4)年に洋画家・笹岡了一(1907-1987)の絵画163点が旧新津市(現新潟市秋葉区)へ寄贈されたことがきっかけとなり、1997(平成9)年に現在の地―笹岡が生まれ育った金津地区―に「新津市美術館」として開かれました。これらの笹岡の作品群は、当館のコレクションの中核をなしています。

笹岡は、自身の創作活動に加えて地域の美術振興にも力を尽くし、多くの後進を育てました。1963(昭和38)年には「新潟光風会」を発足させ、作品発表や研究活動の場をさかんに設けて、新潟県内の美術を志す人々を励ました。同会は、その後、光風会新潟支部、光風会新潟へと変遷しつつも、60年を経た今日まで新潟の主要な美術団体であり続けています。

本展では、当館所蔵品によって、笹岡の画業を振り返るとともに、新潟光風会を中心とする笹岡とゆかりの深い作家たちの絵画や工芸品を展示します。彼らの間で交わされ、共有され、受け継がれてきた創作への熱を、会場です感じてみてください。



5  
1. 笹岡了一(總足) 1946年  
2. 大橋廣治(シエスタ(サクロ・モンテ)) 1985年  
3. 西村満(煙の街) 1978年  
4. 池山阿有(伊はた) 1987年  
5. 石山恵美子(煙そして玄)(七宝) いずれも新潟市新津美術館蔵

## 関連イベント

### アーティストトーク 『わたしと笹岡了一』

本展出品者で新潟光風会ゆかりの作家に、笹岡の思い出や自作についてお話しいただきます。

- ◆ 1月28日(日) 本間 ケイ氏
- ◆ 2月23日(土)・祝 山田 一郎氏
- ◆ 3月 3日(日) 中野雅友氏
- ◆ 3月 9日(土) 堀 研一氏

いずれも午後2時～(約40～60分)  
当館展示室にて(先着30名、事前申込不要、要当日観覧券)

### 学芸員による展示解説会

- ◆ 2月 3日(土) / 2月25日(日)

いずれも午後2時～(約40分)  
当館展示室にて(先着30名、事前申込不要、要当日観覧券)



笹岡了一 1958年 国松画巻(千原市)にて

## 新津美術館の美術講座

当館学芸員がさまざまな美術についてお話しします。

- ◆ 『スペインの巡礼路で出会う大聖堂』 1月27日(土)(石月裕子)
- ◆ 『描かれたアイヌ文化』 2月24日(土)(奥村真名美)
- ◆ 『シャガール作品にみる古代ギリシアの物語』 3月2日(土)(山岸亜友美)

いずれも午後1時30分～(約90分)  
当館レクチャールームにて(先着50名、事前申込不要、聴講無料)

## 新津美術館のサービス

### ◆ こどもタイム

会場に音楽が流れます。会話を楽しみながら鑑賞できます。

日 時 / 会期中の第1・第3の木曜・日曜日 午前10時～午後1時

### ◆ 託児サービス

鑑賞中やイベント参加時に、専門のスタッフがお預かりします。詳しくは当館webサイトをご確認ください。

対象 / 生後6か月～未就学児のお子様

定員 / 1～3名(先着順)

申込方法 / 利用の3日前までにお電話(0250-25-1300)でお申し込みください。

## 交通のご案内

- 〈JR〉 ◆ JR古津駅から徒歩約25分。JR矢代田駅から徒歩約35分。
- ◆ JR新津駅からタクシー約15分。JR矢代田駅からタクシー約5分。



- 〈お車〉 ◆ 新潟方面から、国道49号線を国道403号線加茂・新津方面へ(新潟駅から約20km、約45分)。◆ 磐越自動車道、新津ICから約20分。新津西スマートICから約15分(新津西スマートICは会津若松方面の出入りはできません)。※無料駐車場有(250台)。新潟県立植物園無料駐車場も利用可能。

- 〈バス〉 ◆ JR新津駅東口バス停から、秋葉区バス「新津駅西口行」に乗車約25分、「美術館・植物園前」で下車、徒歩すぐ。もしくは新潟交通バス(平日のみ)「矢代田經由白根・湯東行」に乗車約15分、「新津美術館入口」で下車、徒歩約5分。
- ◆ JR矢代田駅前バス停から、秋葉区バス「新津駅東口行」に乗車約10分、「美術館・植物園前」で下車、徒歩すぐ。もしくは新潟交通バス(平日のみ)「新津駅行」に乗車約5分、「新津美術館入口」で下車、徒歩約5分。

NAM 新潟市新津美術館

〒956-0846 新潟県新潟市秋葉区蒲ヶ沢109-1  
(花と遺跡のふるさと公園内、新潟県立植物園となり)  
TEL 0250-25-1300 www.city.niigata.lg.jp/nam  
Facebook・X(旧Twitter)・Instagram @niitsuartmuseum

